

ひびきの村 ミカエルカレッジ オイリュトミートレーニング

北海道公演

豊浦町地域交流センター とわにーホール

オイリュトミー による 音楽、詩、メルヒェン

プログラム

<音楽のオイリュトミー>

ピアノソナタ第8番作品13『悲愴ソナタ』
ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーベン 作曲
第一楽章 第二楽章

ヘルマン・ヘッセ：作
メルヒェン『アウグストス』から四つの情景
(ピアノ版) 藤井喬梓：作曲

「タイスの瞑想曲」
ジュール・マスネ：作曲

<言葉のオイリュトミー>

アイヌ神謡 フクロウの神の自ら歌った謡
「銀のしずく降る降るまわりに」

宮澤賢治：作 春と修羅より「原体剣舞連」
はらたいけんばいれん

銀のしずく降る降るまわりに
金のしずく降る降るまわりに



2023年12月3日(日) 14:00~14:30, 15:00~16:20

(未就学の小さいお子様には、最初の30分のメルヘンのみの鑑賞をおすすめします。)

会場：豊浦町地域交流センター とわにーホール (198席)
北海道虻田郡豊浦町幸町 87-9

入場料：無料 (カンパにご協力をお願いいたします)

ご予約：申し込みフォーム

ひびきの村



主催：ひびきの村ミカエルカレッジ <https://hibikinomura.org>

後援：豊浦町教育委員会 北海道豊浦アイヌ協会

とわにー



北海道伊達市で活動する ひびきの村ミカエルカレッジ・世界を変えるオイリュトミー・トレーニングでは、日本中から集まった受講生たちが、2019年から5年間かけて、オイリュトミーのトレーニングに励んできました。このたびコースを卒業するにあたり、これまで応援して下さった地域のみなさま、子どもたち、オイリュトミーに関心を持って下さるすべての方々に向けて公演を開催いたします。小さな子どもから大人までどなたにも楽しんでいただき、オイリュトミーの魅力を体験いただけるプログラムを準備しています。

幼児から楽しめるメルヒェン（お話）の演目には、北海道で活動させていただいている私たちの感謝と祈りの思いを込めて、アイヌのお話を選びました。アイヌ文学の中でも珠玉の名作とされている、フクロウの神の自ら歌った謡「銀のしずく降る降るまわりに」の作品を通して、アイヌの文化について学びを深めつつ、語り伝えられてきたお話に込められたメッセージを感じながら取り組んでいます。

そのほか言葉の作品には、ダイナミックなリズム感と幻想的な内容で知られる宮澤賢治の詩「はらたいけんばいれん原体剣舞連」、音楽作品にはベートーベンの悲愴ソナタ、ヘルマン・ヘッセの文学に日本の作曲家・藤井喬梓が作曲した「アウグストゥス」など、時代を超えて、私たちに人間として生きる知恵や勇気を与えてくれる作品を取りあげました。世界中で私たち人間を鼓舞してきた作品をオイリュトミーでどのように体験していただけるか、みなさまに観ていただける日に向けて稽古場で挑戦を重ねています。

オイリュトミーを初めてご覧になる方にもこの機会にぜひお運びいただけますように。そして、来春の東京での公演、スイス・ドルナッハでの公演にも、あたたかいご支援をいただけましたら幸いです。
みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

オイリュトミーとは：

ギリシャ語で「美しい調和のとれたリズム」の意味を持つ運動芸術。1912年にルドルフ・シュタイナーの示唆によって誕生しました。私たちの体を通して音楽や言葉の本質を目に見えるように表現します。教育や医療にも応用され、現在、世界70か国に1300校以上あるシュタイナー学校において、子どもの健やかな心身を育むための必須科目として取り組まれています。

出演：

石黒加奈子 伊部満 大谷未来 小川朋子 國清美樹 栗本真知子 関麻依子 星野ゆか

演奏：

ピアノ：ラムセイ真帆 ヴァイオリン：三浦裕加

講師：

コース代表 関倫尚 芸術監督 藤井馨子

公演予定

北海道豊浦町での公演の後、来春には東京での公演を予定しています。
ぜひお知り合いの方にお伝えいただけましたら幸いです。

2023年12月6日（水）北海道江別市 第2大麻こども園（園関係者のみ）
2024年5月18日（土）東京都三鷹市公会堂 光のホール（詳細はこちら）
2024年6月23日（日）スイス・ドルナッハ ゲーテアヌム

三鷹市公会堂

